

I 教育目標	
「人として」 ○やさしい子 ◎考える子（重点目標） ○やりぬく子 ○健康な子	

II 経営方針	
目指す学校像	～ 一人一人の子どもの笑顔が 光り輝く学校～ ○【子ども】全ての子どもが、安心できる居場所のある学校「通ってよかった！」 ○【保護者・地域】地域に開かれ、地域と共に歩む学校「通わせてよかった！」 ○【教職員】愛情深く、同僚性を高め合える教職員の学校「勤めてよかった！」
目指す児童像	◎自ら考え、主体的に判断し、行動する児童（今年度重点） ○自分も友達も大切にする、思いやりのある児童 ○困難に負けず、最後まで粘り強く取り組む児童 ○心身ともに、健康で逞しく生きる力を育む児童
目指す教師像	○子どもに寄り添い、心から愛情深く接する教師 ○プロ意識をもち、「授業改善」に向けて、常に学び続ける教師 ○「チーム松本」の一員として、互いに同僚性を高め合える教師
経営理念	予測困難な社会を生き抜くために、小学校では、自分の居場所があり、命の大切さを実感できる居心地のよい場所をつくる役割が求められている。また、自分の考えを表現する能力を身に付け、自分だけではなく、他人を理解しようと努力をする子どもを育成していかなければならない。 令和6年度末の閉校に向けて、開校52周年の歴史と鹿本地区の伝統を継承し、「何を残し、何を变えずに守り通していくのか。」をしっかりと見極め、江戸川区が目指している「21世紀にふさわしい学校教育の推進」に向けて、新しい松本小学校を創成していく。

III 経営目標		
重点領域1	確かな学力の向上	
中期経営目標	「誰一人取り残さない学力向上アクションプラン」に基づいた個別指導の充実	
短期経営目標	・学力向上プロジェクト「めざスタ」「ランスタ」を実践し、学力向上を図っていく。 ・「松小授業スタンダード」の。（校内研究と連携） ・「読書科ノート」を活用して、探究学習の素地づくりを行っていく。	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）
1	「松小授業スタンダード」の指導を徹底し、授業スタイルの確立とノート指導について、100%の定着を図る。	学習に関するアンケート項目の自己評価において、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
2	読書科や日常的に調べる姿勢を定着させるため、「読書科ノート」を活用した日常的な探究学習、	「調べる学習コンクール」に応募する児童の割合を80%以上にする。

	「松っ子学習教室」に取り組んでいく。	
3	「ミライシード」を活用した日頃の学習の予習・復習や「江戸川っ子 study week!」を通して、毎日家庭でも学習を取り組ませていく。	学習に関するアンケート項目「すすんで学習に取り組む」において、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

重点領域2		豊かな心の育成
中期経営目標	自他を含めた全ての生き物の命を大切にする児童を育成する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松本スタンダード「人として」をベースに、心を育てる人権教育を推進する。</li> <li>・「全教職員で全児童を見守る」意識をもち、多様なかかわり合いの中で、基本的な生活指導の充実を図る。</li> <li>・自他を尊重する指導を徹底し、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努める。</li> </ul>	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）
1	松本スタンダード「人として」を基に、児童に愛情深く向き合い、一人一人が安心できる居場所のある学級づくりを目指す。	学校生活に関するアンケート項目「学校が楽しい」で、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
2	年に3回の「松っ子週間」の取組や教職員による挨拶を通して、基本的な生活習慣が身に付くように、家庭と連携して、生活指導の充実を図る。	学校生活に関するアンケート項目の挨拶に関して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
3	なかよし班を中心とした全児童がヤギ飼育にかかわり、自他を含めた全ての生き物の命を大切にする教育活動を行う。	学校生活に関するアンケート項目の生き物に関して、「生き物の世話をするのが好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

重点領域3		体力の向上及び健康の保持・増進
中期経営目標	体力を高める日常的な取組や授業の充実をとおして、健康でたくましい児童を育成する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の「きまりごと」の徹底を図り、体育の授業による体力の向上を図る。</li> <li>・家庭と連携した「親子で取り組む体力アップ」に取り組み、児童の健全育成を図る。</li> <li>・安全教育の改善・充実を図り、自らの健康の保持増進に努める児童を育成する。</li> </ul>	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）
1	「のびのびタイム」を取り入れるとともに、運動量が確保された体育の授業を毎時間実施し、体力の向上を図る。	学校生活に関するアンケート項目「体育や外遊びが好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。
2	新体力テストの結果を踏まえて、家庭と連携した「体力アップ」に取り組み、自分が立てた目標値を達成できる児童を育てる。	新体力テストにおいて、自分が立てた目標値を達成できる児童を80%以上にする。
3	PTA や学校応援団との連携による災害に対しての意識向上に努め、自分自身の心身の健康や成長への関心を高める児童を育てる。	学校生活に関するアンケート項目の自分の健康についての肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

重点領域4		地域に開かれ、地域とともに歩む学校づくり
中期経営目標	鹿本地区の特色を生かした教育活動の推進と家庭・地域との連携の強化を図る。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿本地域の一員である自覚をもち、「地域に何ができるのか」を考えられる児童の育成を目指す。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヤギと触れ合う時間」の教育活動を、学校応援団とともに推進していく。</li> <li>・保護者、地域へ学校の教育活動を積極的に発信し、さらなる理解や協力を得ていく。</li> </ul>	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）
1	鹿本地区の一員である自覚をもたせ、児童の愛校心を醸成できる教育活動を進めるとともに、計画的な地域学習を取り入れる。	学校生活に関するアンケート項目の地域に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
2	各学年の発達段階に応じた教育活動「実のなる木」「ヤギと触れ合う」活動を、「学校応援団」と協力して、児童が主体的に動く活動を進めていく。	学校生活に関するアンケート項目「学校が楽しい」で、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
3	学校ホームページは週1回以上更新を行い、学校掲示板や学校・学年だよりを活用して、保護者・地域へ情報を発信していく。	学校関係者評価、保護者アンケートの学校の情報発信について、肯定的に回答する保護者の割合を80%以上にする。